



つながり

奈良県立ろう学校 特別支援部
2020年 6月号

8/19(水)担当者研究会を行う予定です

コロナウィルスの影響で5月の研究会は中止になりましたが、8月は実施する方向で計画を立てています。各市町村の学校の夏休みの状況を鑑み、4月号でお知らせしていた日程を変更させていただきました。

【日程】 2020年8月19日(水) 12:45~16:30
【場所】 奈良県立ろう学校

【講演テーマ】 「地域で学びきこえにくい子どもたちへの支援」
～自分の言葉で伝え、たくましく生きる子どもを育てるために～

京都光華女子大学 准教授 高井 小織先生

※講演後、高井先生を交えて担当者情報交換会を行う予定です。個別相談あり
(コロナウィルスの状況や参加者の人数によって、教室やスケジュール等の変更があるかも知れません。その際は事前に連絡させていただきます。何卒ご了承ください。)

詳細は同封しているご案内をご覧ください。お忙しい時期かと思いますが、ぜひご参加いただけますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

講師紹介

昨年度7月号「つながり」に掲載された原稿を読まれて高井先生をご存じの方もいらっしゃると思います。

(本校の新HP <http://www.e-net.nara.jp/sns/rou> 「学校紹介」→「特別支援部」→「情報誌の発行」でも過去分を閲覧可能です。)



一側性難聴の当事者であり、のべ26年間、京都市立二条中学校難聴学級担任(国語科担当)後、大学の言語聴覚士専攻で教鞭をとっておられます。現在も卒業生を中心に、聴覚障がいのある思春期以降の若者との対話を大切に考えながら、活動を続けておられます。

それらの幅広い経験や話題の中から、今を生きる聴覚障がいのある子どもたちの実像を話していただき、目の前にいるきこえにくい子どもたちへの支援を一緒に考えることができると思います。(文責 椿野)

～高井先生の言葉から～

障がいについての正しい知識をもつことはもちろんですが、それだけでは「伝える力」にはなりません。1つには、相手や状況の中で、どのような言葉でどのように伝えるかという言葉の力が必要でしょう。「聞こえたふりをしないで『聞こえません。もう一度言ってください』って言ったらいいのよ」と聴覚障がいのある子どもに、先生がよく言います。でも、これもワンパターンで解決するようなものではないことは、子ども達が一番よく知っています。もう1つは、自分に対する内なる自信とでもいうものでしょうか。それを支えるのが「あなたがそれを言ってもいいのだ」という関係性の中での承認でもあります。これは自分一人で行うことができるものではなく、相手や仲間の存在に関わってきます。(2019年「つながり」7月号より一部抜粋)

「きこえにくい子に合った支援方法を知りたい」「子どものきこえの状況を把握したい」「子どもは、どんな時に困難さを感じている？」など、お聞きになりたいことや相談したいことがありましたら、いつでもご連絡ください。一緒に子どもたちへの支援を考えていきましょう。

奈良県立ろう学校 吉田(小学生以下)・田中(小学生以上) TEL 0743-56-2921 FAX 0743-56-8833